

第6期麻生区区民会議 第7回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成29年9月11日（月）午後3時～午後4時25分

2 開催場所：麻生区役所第5会議室

3 出席者：[委員]

高倉委員、菅野委員、林委員、鈴木（隆）委員、高橋委員

（欠席委員）植木委員

[事務局]

福島担当係長、西倉

4 傍聴者：0名

5 議 事：

（1）専門部会の検討経過報告

ア 麻生区の魅力発掘・発信検討部会

【説明事項】

・林委員から部会の審議内容について報告

（主な意見）

・「原風景」という言葉が難しい。過去に経験したものが「原風景」で、山や緑ではない。

他から来た方が良いと感じるのは、「原風景」ではないのではないか？谷戸は分かりやすい。

→原風景は、人によって切り口が違う。

→里山が分かりやすいのではないか。

・「原風景」よりも「谷戸」の方が、若い人は分からない人が多い。

→「谷戸」は大きな開発が入っていない自然と共生している地域のこと。古沢は形状的に谷戸だ。

→里山のように若い人にも分かる表現を使った方が良いかもしれない。

・早野地区のPR動画はどのような内容か？どこが作成したのか？

→早野には、池があり、自然の風景が色濃く残っている地域があることをPRしている。

農地課が、早野地区の地域活性化の一環として作成した動画である。

・生田緑地のPR動画はどのような内容か？

→外国人が生田緑地をPRする内容で、多摩区の区民会議の発案と市民提案型事業の提案から作成された。

→動画を作成し、新百合ヶ丘駅で流すことも検討したが、費用対効果の面で部会で目指す情報の入口の面としては相応しくないのでは、見送った。

イ 市民活動・絆づくり部会

【説明事項】

・鈴木委員から部会の審議内容について報告

（主な意見）

・キックオフイベントのメインターゲットが小学校低学年以下の子どもを持つ子育て世代となっ

た経緯は？

→前提として、全世代をターゲットとすることは変わっていない。今回、キックオフイベントを実施するにあたり、部会内でターゲットを絞ったが、それは、本当にその人たちのニーズがあるかを検証したいから。

市民活動センター等で高齢者向けのイベントをかなりやっているが、若い世代向けのイベントが少なく、また、参加もしてほしいから、小学校低学年以下の子どもを持つ子育て世代をターゲットとした。高学年は塾等で忙しく参加しづらいという意見が出た。

・イベントのターゲットは対象を絞り、提言時に全世代とすると整合性が取れないのではないか？

→イベントは全世代を対象とするが、内容については小学校低学年が参加するようなものを行う。そして、このイベントをきっかけに親や祖父母、知人がついて来るかもしれない。子どもをターゲットにしたイベントに、どのような区民が集まるかを検証したい。このイベントは、体験して終わるのではなく、そこで地域の活動を知る仕掛け（チラシ配布等）を準備して、地域活動に繋がるようにしたい。

→メインターゲットの捉え方が違うのではないかと整理した方が提言に上手く繋がっていく。

→市民活動は同じ世代が集まりがちなので、多世代に広げるのはいい考えだ。

来年すぐにではなく、何年か経ち子どもの手が離れた時に、手伝おうという人たちを育てるといいのではないかと。長期的に地域の絆を深めていくような試みを継続していくことが大事だ。

・キックオフイベントを第6期の区民会議のフォーラムにすることはできないか？

→次の部会で報告したい。

→事務局でも区民会議フォーラムを第6期としてやりたいと考えている。

(2) 広報・広聴活動について

ア 区民会議ニュースについて

【説明事項】

・事務局から、区民会議ニュース第3号の発行について説明

→第3号は11月中旬発行とし、絆づくり部会の検討の進捗状況によって、キックオフイベントの予告を行う。

→第4号は12月中旬発行とし、絆づくり部会のキックオフイベントの周知を行う。

キックオフイベントの周知は、第4号の他にチラシを作成し、様々な場所で周知を行う。

(3) その他

(概要・意見等)

<第四回区民会議全体会議に寄せられた意見について>

・区民会議ニュース第3号で、すべての意見に回答することは紙面の都合もあり難しいので、いただいた意見をまとめて紹介する形としたい。

<区民会議の休止について>

・タウンニュース9月8日号に区民会議休止の記事が掲載された。

・市民文化局区政推進課が、各専門部会に説明に来る。

以 上